

64 「千葉県を歩く6 野田へ」

10月は天候不順の日が多かったが、11月に入り歩くのに都合よく安定した気候になった。これまで、安房鴨川、九十九里海岸、勝浦、銚子、館山と歩いてきた。まだ行っていないのは北西方向で、今回は野田方面に向かって歩こうと思う。

■2, 016年11月14日(金) ①青葉台→浜野

11時に家をスタート。旧道を行く。

北風が少し強いが、暑くなく寒くなく歩くにはちょうどよい気温。

11時30分、JR跨線橋を渡る。横に歩道(白塚側道橋)が併設されている。いつもは車で通過するので、歩道が付いていることすら気付かなかった。今日初めて歩いて渡る。

12時、島野三叉路の信号を通過。どんどん歩いても汗は全く出ない。この道路は普段から車で通っているので景色は見慣れているが、歩く速度で見ると店が入れ替わっていたり新しい発見がある。

12時15分養老橋を渡り、12時半五井駅前到着。コンビニでコーヒーを飲む。腰かけるところがなく立ったままで10分休憩。

13時、君塚陸橋西側交差点を通過、13時30分JR八幡宿駅に着いた。

五井駅からここまでの間の道路は歩道らしいものがなく側溝の上を歩くことが多かった。駅前のバス待合所の椅子に腰かけて15分ほど休憩。

もう少し歩けそうなので浜野を目指して再びスタート。14時ちょうどに村田橋を渡るとすぐに千葉市に入った。ここまで来るとさすがに足全体がダルくなり歩幅が狭くなった。14時20分JR浜野駅に到着。八幡宿～浜野間は距離が短くあっという間についてしまった感じ。



養老橋を渡る



千葉市に入る

■ 11月8日（火） ②浜野→稲毛

10時45分、JR浜野駅をスタート。今日はやや肌寒いが、風は強くなく歩きやすい。

11時、生浜高校前を通過。

11時10分、蘇我陸橋。車で通るとアツという間だが歩くと結構距離がある。陸橋側道に面して新しい家が建っているが、ひっきりなしに通る大型トラックの騒音で煩くないのだろうか？

国道357号に入る。この道路はずっと歩道が備わっているの、車に神経を使う必要がなく歩きやすい。

11時30分、JFE（旧川崎製鉄）横をしばらく進み、蘇我駅入口を通り過ぎる。

この辺りを歩いていると、電柱がないことに気づく。配電線が地中化され街並みがスッキリしている。

11時45分、JR京葉線高架橋、下から見上げるとダイナミックな立体交差だ。



JR京葉線と立体交差

12時、コンビニでコーヒーを飲み小休止。ちょうど昼時で、作業服の人たちが思い思いに食事をしている。再び歩き始めるとすぐに小さな公園を見つけた。歩いていると道路には座ることができるベンチはめったにないので、せっかくだから暫く休む。道路の向こう側に千葉銀行本店が見える。

登戸4丁目から右に曲がり、一本内側の道に入ると静かな住宅地である。京成電鉄西登戸駅からしば

らく線路沿いに歩き、13時10分みどり台駅を通過。次第に雲が厚くなってきた。

黒砂台1丁目信号からさらに右方向に進むとJR線の高架が見えた。

JR総武線に沿って歩き、住宅密集地の細い道を抜けると、13時35分JR稲毛駅に着いた。疲れはそれほどでもなくもう少し歩けると思うが、次の駅までは距離があり無理そうなので今日はここまでとする。



京成電鉄(西登戸～黒砂台間)線路沿いを歩く

■ 11月17日（木） ③稲毛→南船橋

今日は晴れて風がなく寒くない。歩くのに絶好の天気だ。

10時30分、JR稲毛駅をスタート。総武線沿いは住宅地で道路はうまく連続していないので、海側の国道357号に行くことにする。

京成線を通り越し、357号に入るとすぐに稲毛浅間神社を通過。さらに進むと、京葉道路が大きく



防音壁に沿った道

カーブして湾岸道路に合流するポイントで歩道がなくなってしまう。

ここからは湾岸道路の防音壁の外側に沿った歩道を歩く。歩道は木陰の中を通っていて、静かで清々しくガラッと雰囲気違う。左側にはマンション

ンが建ち並び、防音壁を境に全くの別世界である。

11時25分、花見川の袂で357号に合流、幕張の高層ビル群がすぐ近くに見えるポイントまで来た。大型トラックが次々と猛スピードで通過し騒音が煩わしい。



花見川を渡る

歩道と車道の境に植えられている木の根が歩道を下から押し上げ、アスファルト舗装に割れ筋を作っている。木の根の押し上げる力の強さに驚く。

11時50分、歩き始めて1時間20分経過、大型ショッピングセンター（イオン幕張店）に入り店内のソファで小休止。



舗装に亀裂を作る根の力



海浜幕張 高層ビル群

国道357号は東京と千葉を結ぶ幹線道路で車のための道路、歩行者は交差点の度に横断歩道を上り下りしなくてはならないのは辛い。

12時10分、浜田川橋を過ぎしばらく進むと、湾岸習志野料金所あたりで防音壁がなくなり視界が開けた。歩道は自然とJR京葉線高架橋と並行す

るようになり、新習志野駅が見えてきた。

12時40分、駅近くのサイゼリアに入り昼食。足に疲労が来ているので昼食休憩でできるだけ疲れを取りたい。GPSで位置を確認しこれからのルートを検討する。最終的には千葉県の最西北地点に行きたいのだが、どこから北上するのがいいかを決める必要がある。現時点では東武野田線に沿った道路に行くのが良いだろうと考えている。

30分昼食休憩し13時10分スタート。足の疲れ具合から、今日は次の南船橋駅までにしよう。

新習志野からは京葉線高架の左側を歩く。高架橋の下はかなりの広さがあり、大型トラックなどの駐車スペースになっていることが多いが、もっと有効な使い方があるのではないだろうか。もっとも、駅の近くでは店舗などに使われていることが多いが。



船橋市に入る



湾岸習志野インター付近

13時45分、船橋市に入る。

そういえば千葉市から習志野市に入ったのは気付かなかった。市と市の境には必ず表示があるとは限らないようだ。船橋市に入るとすぐに南船橋駅にいた。13時50分だった。駅の西北側は草の生えた大きな空き地になっている。いずれは大型ショッピングなどの商業施設ができるのだろう。

■ 2017年2月15日（水） ④南船橋→新鎌ヶ谷

前は昨年11月17日だった。それから本格的な冬を迎え、12月から新年に入り天気の状態や都合が合わずアツという間に1月が過ぎた。そして2月も半ばになりようやく続きを歩ける日が来た。

JR京葉線で南船橋に着いた。今日は南船橋から先を歩く。東武野田線に沿って北上しようと思う。

10時半スタート。今日は気温が低い空は雲一つない快晴である。

JR京葉線の高架と高速道路とが覆いかぶさり、道路には日の光が全く当たらない。

ラポートの横を通りしばらく行くと海が見えて来た。太陽の光が海面に当たり反射して眩しい。すぐ近くに高層の建物が見えるところだが、漁船やプレジャーボートが係留されている。

船橋港観水公園というようだ。今日は平日なのでほとんど人影はない。

11時、湊町2丁目交差点を右折すると繁華街に入り、しばらく歩くとJR総武線船橋駅に着いた。

駅周辺は雑然として道がわかりにくかったが、何とか東武野田線に沿った道に入ることができた。

しばらく高架に沿って歩くが、この辺りは住宅街で曲がりくねった細い道でナビの助けを借りて進ん



船橋港観水公園から中心街を望む



東武野田線高架に沿って歩く

塚田駅を過ぎると畑が増え、時々広大なキャベツ畑があつたりしてのどかな景色が続く。

馬込駅が近くなり、見覚えのある道路に出た。以前叔父の葬儀で馬込祭場に来たことを思い出した。



広大なキャベツ畑

歩き始めて2時間近く経ち、疲れも出てきたので休憩を兼ねてどこかで昼食にしたい。

県道8号に入り、馬込十字路を渡ってすぐに見つけたサイゼリアで昼食にする。時刻は12時45分、昼食どきで店内は満員だった。

年のせいか、少し休んだくらいではなかなか疲労は回復しない。携帯のGPSで地図を確認し、今の疲労状態から今日は鎌ヶ谷かその先の新鎌ヶ谷まで歩

こうと決めた。

でいく。

11時30分、東葉高速鉄道「東海神」駅を過ぎしばらく行くと、東武野田線最初の「新船橋」駅に着いた。ここまで狭い道路で方向がわかりにくかったが、ここからは高架に沿ってまっすぐな道が続き、12時ちょうどに塚田駅についた。



東武野田線 新船橋～塚田駅間

歩き始めて2時間近く経ち、疲れも出てきたので休憩を兼ねてどこかで昼食にしたい。

県道8号に入り、馬込十字路を渡ってすぐに見つけたサイゼリアで昼食にする。時刻は12時45分、昼食どきで店内は満員だった。

年のせいか、少し休んだくらいではなかなか疲労は回復しない。携帯のGPSで地図を確認し、今の疲労状態から今日は鎌ヶ谷かその先の新鎌ヶ谷まで歩

こうと決めた。

13時25分スタート、県道8号を我孫子方向に進む。道は一本道でわかりやすく、両側に歩道があり歩きやすい。空は雲一つなく歩いていて気持ちは良いが、徐々に足が重くなり歩幅が狭くなってきたと思う頃鎌ヶ谷駅に着いた。駅前のベンチで小休憩し、もう一駅だけ歩くことにする。

このあたりは東武線と京成線に近く、交通の便のよい地域だ。

道路は国道464号で、駅を出るとすぐに新京成電鉄の初富駅があり、さらにしばらく歩くと市役所の建物が見えた。鎌ヶ谷市の中心部だろう。道路の左側は東武線、右側は北総線で、前方二つの鉄道が合流しているところが新鎌ヶ谷駅だ。

足の疲れもさることながら、背筋も痛く歩くのがきつくなってきた。14時20分、新鎌ヶ谷駅に到着、今回はここまでにする。

■ 3月16日（木） ⑤新鎌ヶ谷→梅郷

10時15分、新鎌ヶ谷駅をスタート。風が冷たいが快晴で気持ちいい。

今日は、県道8号から国道16号に入り北上しようと思う。

まず県道8号を進む。交通量がとても多く、しばらく行くと歩道が右だったり左だったり忙しい。

10時40分六実駅、11時高柳駅を通過。高柳を過ぎると県道8号は大きく右に曲がる。

この辺りはずっと戸建て住宅が続いている。右から左に飛行機が低空飛行で徐々に降下して行った。ここは成田空港に近いのだ。

看板に“沼南”という文字が目立ち始めた。すでに鎌ヶ谷市から柏市に入った。柏市沼南という地名は“手賀沼の南”から来た地名だろう。

11時30分、「天照大神」を祀っているという神明社という神社があったのでお参りしたかったが、長い階段を上らなければならないので先を急ぐ。

住宅はまばらになり、所々畑もみえるが林や未利



用地が多い。

11時50分「大島田」交差点を左折し国道16号に入る。すぐに見つけたCOCO'Sで昼食。お勧めはティーボーン・ステーキとのことだったが、肉は重過ぎるのでスパゲッティにした。

店は国道16号沿いに立地しているが、アクセスの関係か時刻の関係か、車での来客は少ないようだった。足の疲れ具合を考慮しこれからのルートを検討する。柏から東武線で1駅（豊四季）、2駅（流山おおたかの森）くらいまでが適当だとすると、国道16号から県道282号に入り柏駅、そこから東武線に沿って進むのがいいだろう。とにかく歩けなくなった地点で鉄道かバスに乗れることが条件だ。

12時35分スタート。しばらく歩いて気付いたのだが、国道16号には柏駅行きの路線バス（阪東



バス)が通っていた。もし、柏駅を過ぎても逆方向の柏駅行きの路線バスがあれば、このまま進んでも大丈夫だ。歩けなくなったらバスで柏駅まで戻ることができるので、県道282号に入らずこのまま16号に行くことにする。

12時58分、柏隧道を通過。柏駅付近の高層ビルが見えて来た。

13時25分、柏市役所前を通過、JR常磐線の上を過ぎるとすぐに国道6号（水戸街道）を渡る。柏駅を過ぎてもバス停があり、路線図が表示されていたのでこのまま進んでも大丈夫だろう。

13時45分、柏警察署前のセブンイレブンでコーヒーを飲み小休止。手賀沼にそそぐ水路の早咲きの桜が美しい。



14時45分、つくばエクスプレス高架下を通過。もうバスに乗るのは難しくなった。

ここからさらに進んで6~7km先の東武線の駅(国道6号から最も近い梅郷駅)まで行くか、1kmほど離れたつくばエクスプレスの最寄り駅「柏の葉キャンパス駅」で終わりにするか?

かなり悩んだが、次回のスタートポイント、最終目的地までの残り距離を考えるとできるだけ進んでおきたい。足はかなり疲れてはいるが、マメができているわけではないので、何とか頑張ってしまうかと意を決し梅郷駅を目指すことにした。

1kmほど歩き15時5分、常磐自動車道柏インターを通過。高速への「イン」と「アウト」の道路それぞれを歩道橋で渡らなければならないのは辛い。さらに進み利根運河を渡るとやっと野田市に入った。



いながら歩くと梅郷駅入口が見えてきた。そこから500mほど歩き、やっとのことで16時25分、梅郷駅に着いた。最後の数キロはかなり辛く、無理して22kmくらい歩いたことになる。

14時20分、柏消防署。靴下のズレを感じ、マメができると困るので、靴を脱いで履きなおす。

道路沿いには全国チェーンのなじみの店舗、国内のほとんどの車メーカー、主だった海外メーカーのショールームが次々と現れる。

ふと、気付くといつの間にか16号沿いにバス停が見えなくなっている。路線バスはあるはずだが別の道路なのかも知れない。



16時、東京理科大野田キャンパスを通過、薬学部と理工学部があるようだ。

足の疲れはほぼ限界になり、時々足の甲に鋭い痛みが走る。ここまで来ると残りはあと2kmほど、気力で頑張る。体のバランスが取りずらく、歩道のゆがみや傾きなどが嫌だ。あと少し、もう少しと言



■ 3月30日（木） ⑥梅郷→関宿

暖かい日があったと思えば急に寒くなったり、このところ日替わりの不安定な天気が続いている。昨日はかなり寒かったが、今日は暖くなる予報だったので出かけることにした。

今回が6回目、何とか最終目的地点まで歩きたい。今日は梅郷から茨城県との県境にかかる境大橋までを歩く予定だ。地図上で距離を測ると約24kmあった。体調によっては歩けないかも知れない。

それでも歩く予定のルートには路線バスが通っているので、歩けなくなったらバスに乗って帰って来ればよい。

10時10分、梅郷駅をスタート。天気は快晴、気温は暖かく風は爽やで気持ちいい。

国道16号に並行した道路に行く。歩き始めから足が重く調子が出ない。24km歩けるだろうか、非常に不安。10時40分、中根交差点を通過。右前方に大きな観覧車が見える。「もりの遊園地」という看板があった。

10時55分、野田市役所前を通過。この辺りは市街地道路に面して雑木林があり落ち着いた感じの街並みだ。「宮崎市民の森」というらしい。

道路は自然に国道16号に合流、1時間ほど歩いた頃から少し足が軽くなってきた。気温は上昇し、後方から照り付ける太陽が暑いくらいだ。

11時30分、セブンイレブンで小休止。昼食時



市役所近くの「市民の森」



国道16号は埼玉方向に大きく左にカーブ



県道17号入る

でトラックの中で食事をするドライバーが多い。市街地を過ぎると物流倉庫が目立ち始め、変化に乏しい風景が続く。

国道16号が埼玉県の方に大きく左カーブする地点で右折し、県道17号（流山街道）に入ると「関宿2km」の表示板が目に入った。

すぐにバス停があり、時刻表をみると1時間に3本ほど運航していることがわかった。しばらく行くと歩道がなくなり大型トラックに注意しながら歩く。

12時35分、飛鳥建設技術研究所があった。2時間ほど歩いたので昼食休憩をしたいが、辺りの雰囲気から適当な食堂があるのかどうか少し不安。

さらに20分ほど歩くとローソンがあった。この先適当な食堂が見つからなかった場合を考えて、おにぎりを1個食べる。

ここまででまだ予定の半分の距離である。疲れがたまってきたがこの先大丈夫か？

13時10分、せんべいや「喜八堂」でお茶をいただき一休み。美味しそうな手焼きせんべいをいくつか買い宅急便で家に送る。

13時40分、やっとラーメン屋を見つけ昼食をとりながら休憩。関宿図書館の前で、千葉銀の支店があるところをみるとこの辺りが関宿の中心か？

この地点で目的の60%、約14km歩いたのであと10kmほど残っていることになる。まだまだ先は長い。

14時10分、スタート、すぐに江戸川の堤防に出た。サイクリングロードが整備され、道路に沿って満開の菜の花が延々と続いている。素晴らしい眺め。この菜の花ロードは2kmほど続いた。

14時40分、県道17号に戻る。



江戸川堤防の菜の花とサイクリングロード

15時40分、目的ポイント「境大橋まで3km」の表示があった。バス停（不動前）で時刻を確認すると、何と！最終バスが16時19分発になっている。途中で見た時刻表ではかなり本数があったが、関宿の中心部を過ぎてしまうと本数が激減。

迂闊だった！帰りのバスに乗る地点の発車時刻はもっと早いので、16時10分にはバス停に到着していなければならない。残り3kmであと30分しかない！

疲れはほぼ限界に達していたが、そんなこと言っていられない。最終バスに乗れなければ、誰かの車の世話にならざるを得ない。事前に調べたところタクシーは呼べないことが分かっている。

ここからは、疲れていても速足で歩くしかない。もう景色を楽しんでいる余裕はなくなった。携帯のGPSで道路地図を見ながら時間との競争だ。

いよいよ残り時間がなくなって、最後の1kmは疲れた体に鞭打って走った。しかし、さっきのバス停（不動前）を過ぎてからずっとバス停が見当たらなくなりかなり不安。橋の近くにきっとバス停はあると信じとにかく走った。

関宿博物館入口の交差点から道路は大きく右に曲がり、上り坂になる辺りでとうとう残り時間がなくなり、境大橋への到達は難しいことが明らかになった。ここまで頑張って歩いて来て、県境の橋を渡ることが叶わないのはいかにも残念だ。でも仕方ない。橋まであと200mほどの地点で写真を撮りここを終着地点とした。向うから自転車に乗った若者にバス停を訊くと、歩道橋の手前に朝日バスの停留所があるという。ここから1kmはないだろうとのこと。すぐにUターンしてバス停を探す。



喜八堂

15時、東葛飾病院を通過。さらに30分ほど歩くと、右遠方に利根川の堤防が見えて来た。やはり菜の花に覆われている。関宿は江戸川と利根川に挟まれこの先どんどん狭くなり、二筋の川が合流するところで千葉県が終わりとなる。



遠くに利根川の堤防が見えてきた



右折して境大橋に向かう



疲れはピークに達しているが、時間がないので走るしかない。息が上がり喉は乾く、汗が噴き出る。

博物館入口を過ぎ、県道17号と県道26号の分岐点まで来たが、歩道橋らしきものは見当たらない。

さらに来た道に戻るが、この先不動前までバス停がないことはわかっている。もしや違う道路ではないかと、再びさっきの分岐点まで戻り26号に入ると、やっとあった！野田市コミュニティバス「まめバス」のバス停だった。時刻表をみると、最終16時24分発の関宿中央ターミナル行きになっている。

これではだめだと、先を見ると50mほどの距離に朝日バスのバス停があった。着いたのは16時13分、恐る恐る時刻表を見ると、東武野田線川間駅行き最終バスは16時17分発、何とか間に合った！

関宿町には鉄道はなく公共交通はバスしかないはずだが、最終がこの時刻では困るのではないだろうか。(後日調べると、関宿中央ターミナルから川間行きは遅くまで運行されていた)

バスは歩いてきたばかりの見慣れた景色の中をどんどん戻る。道路は比較的空いていたが「川間駅」までは30分かかった。改札の前で **Suica** がいないことに気付く。いくら探してもポケットにない。バス停で待つ間にハンカチで汗を拭いたときか、もしかしたらバスの中に落とししたのかも知れない。

千葉県最西北端を目指し歩いたが、最初にもう少し計画的に距離の割り付けをしておくべきだった。5回目の22kmと最後の24kmは、自分としてはかなりの距離でハードだった。

それでも大きなトラブルもなく、最後まで歩き通せたことに感謝したい。

今回の総距離は105kmでこれまでで最長だった。楽しく歩くために、最後にシワ寄せが来ないように計画する大切さを改めて教えられた。(2017.03.30)

